

エコアクション21

環境経営活動レポート

(55期：2022年11月1日～2023年10月31日)



発行 2024年1月31日



OSUMI
株式会社オオスミ

目次

1. 組織の概要	3
2. 環境方針	7
3. 中長期環境目標（全社）	8
4. 環境目標とその実績	9
5. 環境活動計画及びその取組み結果と評価・次年度の取組み	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	21
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	22

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者氏名

株式会社 オオスミ

代表取締役 大角 武志



(2) 所在地（認証・登録範囲）

本 社 神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町20番地17

TEL：045-924-1050（代）

FAX：045-924-1055

東京支店 東京都千代田区神田猿樂町二丁目1番14号

川崎支店 川崎市宮前区鷺沼3-1-37

大和支店 大和市福田2丁目25番地1

福島支店 福島県郡山市富田町字稲川原67番地

千葉営業所 千葉県鎌ヶ谷市西道野辺13-41-101

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 岩崎 伸治

TEL：045-924-1050

FAX：045-924-1055

(4) 事業の規模

資本金：3,000万円

工事の件数：2件

従業員：119名

(5) 使命と事業活動の内容

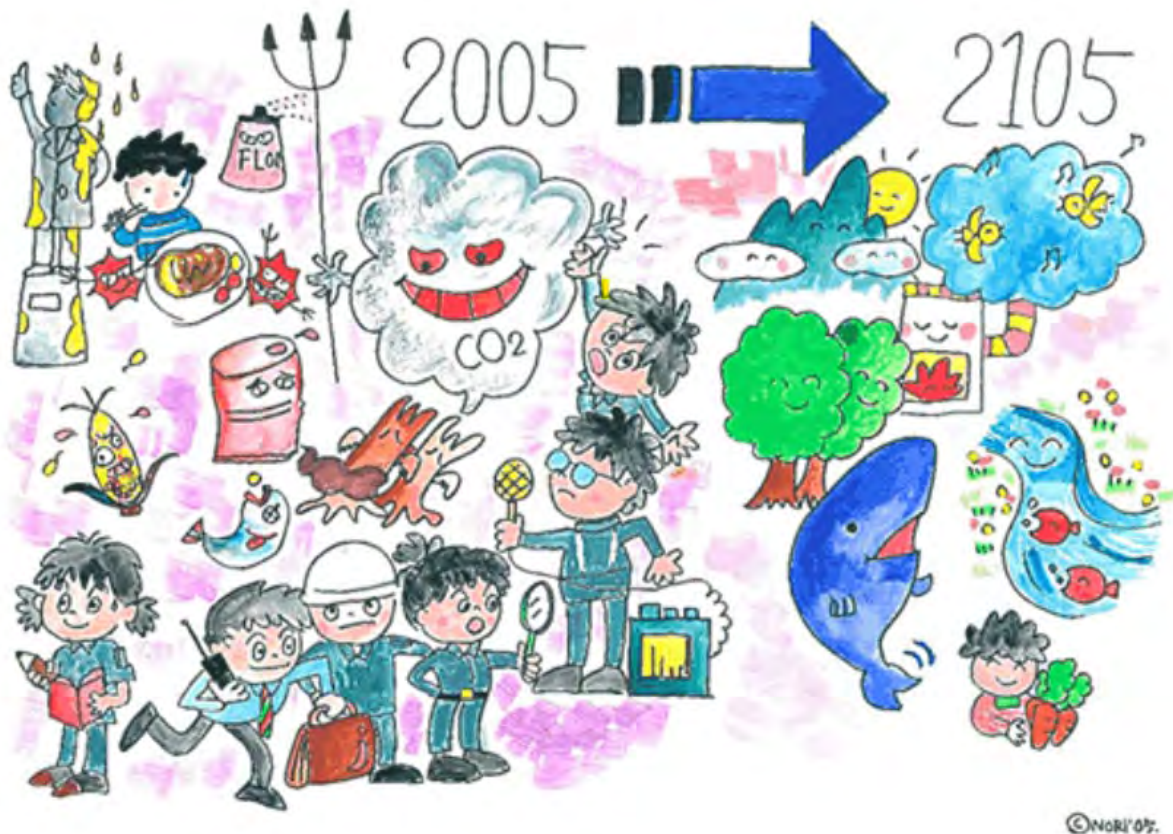
オオスミの使命

「私たちは地球に暮らす人々に

『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます

100年後には公害や環境汚染が過去の話となるように、 そのためには、
現実を正確に知ること。真摯な姿勢で環境と向き合うこと。
これが私たちの思いです。

オオスミは2005年に使命を掲げ、「日本だけでなく、世界の環境問題にも立ち向かう」という方向性を打ち出しました。
私たちが培ってきた経験や技術を駆使して、これからも環境分野で貢献したいと考えます。



事業活動の内容

環境分析・測定・調査及び企画・コンサルティング、工業薬品販売
建設工事(汚染土壌除去工事)・材料解析

私たちは地球環境を見守るプロフェッショナルです。

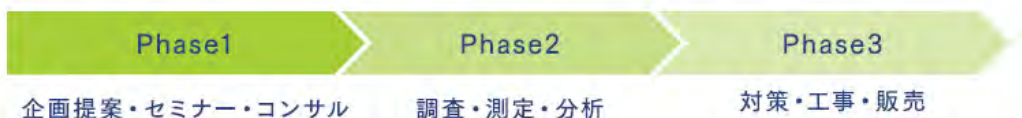
調査、測定、分析、コンサルティング、対策。
確かなプロセスを踏み、あらゆる環境問題への答えを探ります。



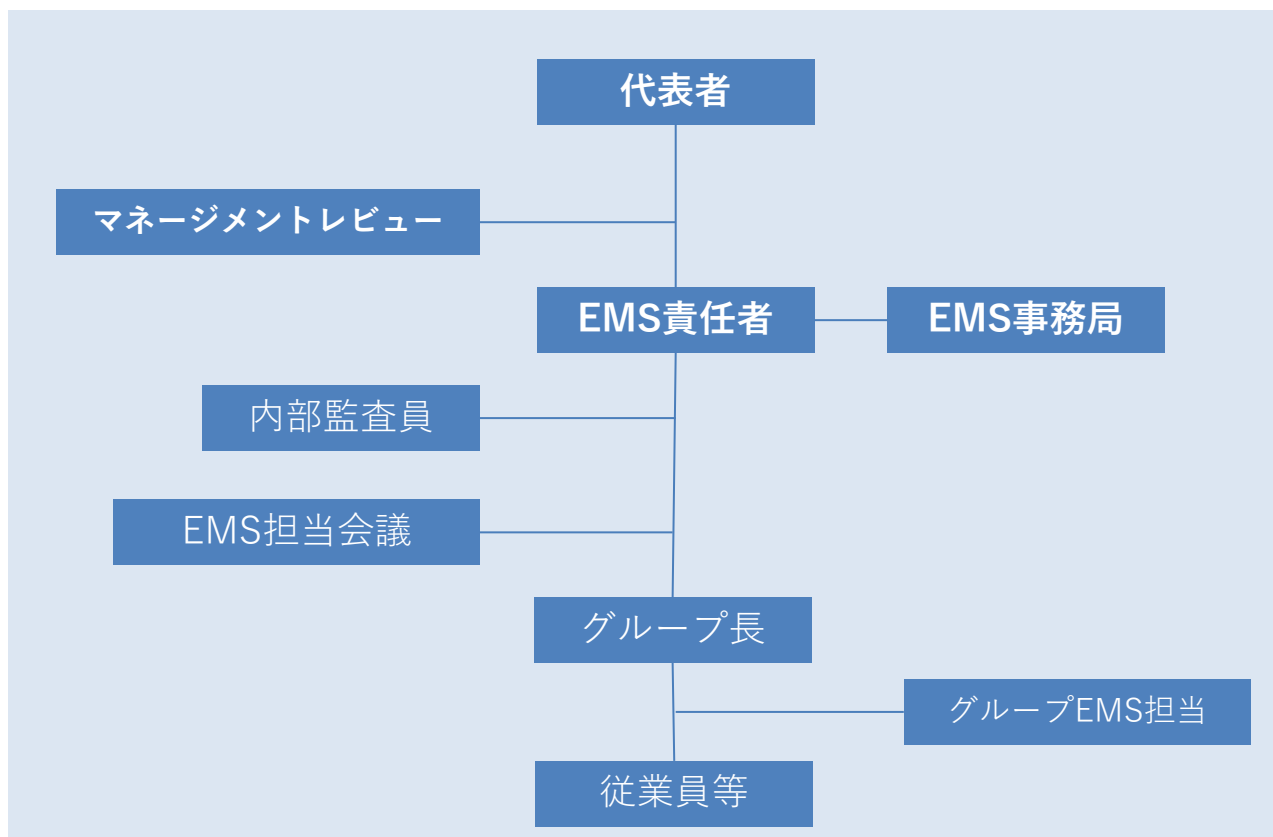
膨大なソリューションで、地球環境を見守ります。

5つの「事業分野」に対し、「企画提案、セミナー、コンサル」
「調査、測定、分析」「対策、工事、販売」という3つの段階でアプローチ可能です。

A	環境保全事業	水、土壌、大気、騒音・振動、アスベスト、PCB、マイクロプラスチック等
B	労働安全衛生型環境事業	作業環境測定、個人暴露測定等
C	コンサルティング	環境法令対策支援、省エネ診断、CO2削減支援
D	製品・材料試験事業	材料・異物分析、受託・研究、ゆあらば、こらぼ等
E	環境関連商品等販売事業	化学工業薬品、環境関連商品、省エネ対策商品等



(6) エコアクション21組織図



(7) 各種許認可・登録

計量証明事業登録（濃度） 神奈川県第18号

計量証明事業登録（音圧レベル） 神奈川県第29号

計量証明事業登録（振動加速度レベル） 神奈川県第11号

作業環境測定機関登録 神奈川労働局14-18

建設コンサルタント登録（土質及び基礎部門） 建03第9793号

土壤汚染対策法に基づく指定調査機関登録<環境省> 指定番号 2020 -3- 0008号

建築物飲料水水質検査業登録 横浜市R5水第0002号

建築物空気環境測定業務登録 横浜市R4空第0025号

毒物劇物一般販売業登録 第51150012号（本社）・第09510065号（大和支店）

一般建設業許可（土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、解体工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業）神奈川県知事 許可（般-3）第84595号

ISO9001：2015/JIS Q 9 001:2015 登録番号4909

エコアクション21 認証・登録番号0010719

オオスミ環境方針

1. 私たちは使命※を掲げ、仕事を通して顧客及び地球環境に貢献します。
2. 私たちは環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減を図り、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、カーボンニュートラルに取り組みます。
3. 私たちは、オオスミで働く全ての人が環境への高い意識を持ち続け環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動します。

2022年11月1日

株式会社オオスミ

代表取締役 大角 武志

※ 使命：「私たちは 地球に暮らす人々に
『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」



3. 中長期環境目標（全社）

環境 目標	基準年 （52期実績）	53期 （目標：基準年1%削減）	54期 （目標：基準年2%削減）	55期 （目標：基準年3%削減）
	2019年11月～2020年10月	2020年11月～2021年10月	2021年11月～2022年10月	2022年11月～2023年10月
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大(全社売上計画100%遂行)	100%	100%	100%	100%
1-(2)「省エネ」等環境改善に繋がる売上計画100%遂行	100%	100%	100%	100%
2-(1)化学物質の適正管理	分析内容ごとに化学物質の使用量は決められているため、削減目標数値は設定せず適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(2)廃棄物の適正管理	当社は環境計量証明業であり、分析に必要な量を減らす目標設定は合理性を欠くため、適正管理活動の計画を目標とする。			
2-(3)-①紙の使用量の削減	6,684 kg	6,617 kg	6,550 kg	6,483 kg
2-(3)-②水使用量の削減	3,351 m ³	3,317 m ³	3,284 m ³	3,250 m ³
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」	水質事故「0」
2-(5)CO ₂ 排出量※	282,530 kg-CO ₂	279,705 kg-CO ₂	276,879 kg-CO ₂	274,054 kg-CO ₂
2-(5)-①電力使用量の削減	442,577 kWh	438,151 kWh	433,725 kWh	429,300 kWh
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	2,128 Nm ³	2,107 Nm ³	2,085 Nm ³	2,064 Nm ³
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	21,892 L	21,673 L	21,454 L	21,235 L
2-(5)-④軽油使用量の削減	7,192 L	7,120 L	7,048 L	6,976 L
2-(6)グリーン購入の推進	62.8 %	63.4 %	64.0 %	64.6 %
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮
3.環境に関する取組の向上	・ ホームページPR ・ 社内外の教育訓練 ・ 環境関連施設の見学 ・ 社会貢献活動への参加 ・ 環境負荷低減設備の効果確認・結果発信 ・ エコにつながるオオスミ風呂敷を皆で活用する ・ 客先訪問時のPR実施 など			

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)（平成30年度）の0.468 k g - C O₂を使用しています。

4. 環境目標とその実績

凡例：○：目標達成

×：目標未達成

環境 目標	取組みとその評価（2022年11月～2023年10月）		
	目標 55期	実績 55期	達成区分
1-(1)環境配慮サービスの提供拡大 (全社売上計画100%遂行)	100%	100%	○
1-(2)「省エネ」売上計画100%遂行	100%	72%	△
2-(1)化学物質の適正管理	・ 試薬管理システムを活用し 見える化を進める ・ 試薬管理の運用見直し ・ 勉強会の実施	・ 試薬管理システムを活用し 見える化を進める ・ 試薬管理の運用見直し ・ 勉強会の実施	○
2-(2)廃棄物の適正管理	・ 廃棄物管理の整備・規定見直し ・ ルールブック活用、分別の明確 化及び徹底により、ゴミの減量 化を進める	・ 廃棄物管理の整備・規定見直し ・ ルールブック活用、分別の明確 化及び徹底により、ゴミの減量 化を進める	○
2-(3)-①紙の使用量の削減	6,379kg	4,382Kg	○
2-(3)-②水使用量の削減	3,250m ³	2,646 m ³	○
2-(4)排出処理装置の維持運用	水質事故「0」	水質事故「0」	○
2-(5)CO ₂ 排出量※	274,054kg-CO ₂	78,739kg-CO ₂	○
2-(5)-①電力使用量の削減	429,300kWh	538,439kWh	×
2-(5)-②都市ガス使用量の削減	2,064Nm ³	1,135Nm ³	○
2-(5)-③ガソリン使用量の削減	21,235L	18,951L	○
2-(5)-④軽油使用量の削減	6,976L	6,303L	○
2-(6)グリーン購入の推進	64.6%	50.9%	×
2-(7)工事現場における環境配慮の徹底	建設現場での環境配慮	建設現場での環境配慮	○
3.環境に関する取組みの向上	・ ホームページによる環境活動のPR ・ 社会貢献活動 ・ eco検定全員受験 ・ eco検定全員受験 ・ 脱プラに繋がる事務用品の導入	・ ホームページによる環境活動のPR ・ 各グループ社会貢献活動を行った ・ eco検定全員受験のため情報を 発信した ・ 脱プラに繋がる事務用品の 紹介をした	○

備考：※購入電力の二酸化炭素排出係数は、本社はみんな電力（平成30年度）0kg-CO₂、東京支店は東京電力エナジーパートナー(株)（平成30年度）の0.468kg-CO₂を使用しています。

5. 環境目標活動計画及びその取組み結果と評価・次年度の取組み

(1) 事業を通じた環境貢献

オオスミは地球に暮らす人々の『安全』と『安心』のため、仕事を通じてお客様及び地球環境に貢献することを目指し、水や大気・土などの環境調査・分析・対策を行っています。中でも、お客様の環境負荷低減に繋がるサービスについて取組み目標を決め継続的に活動しています。

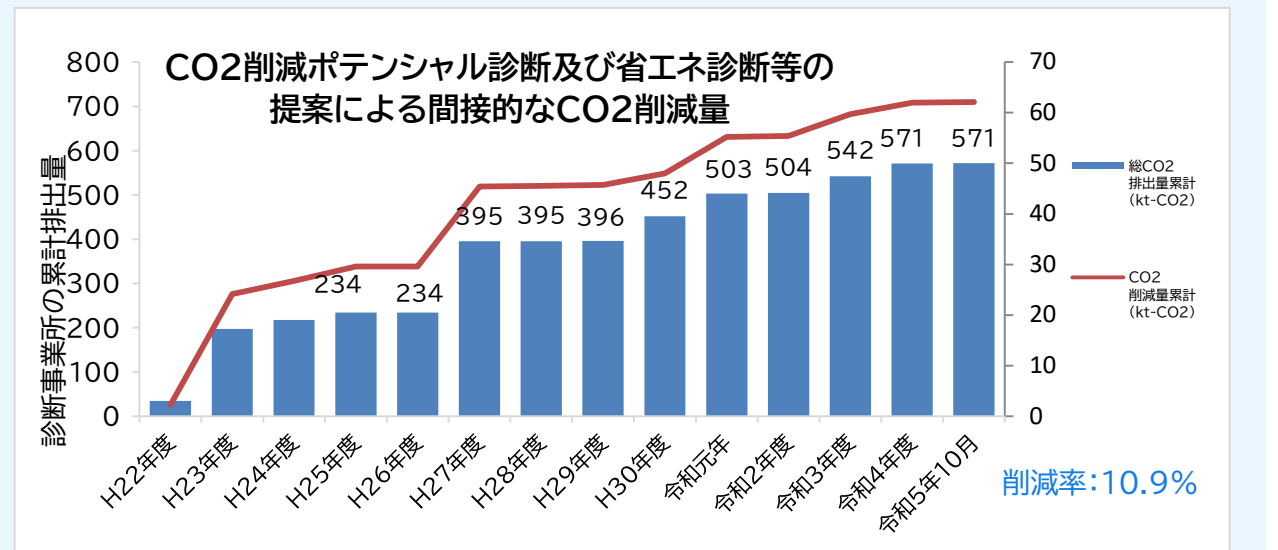
省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大

環境改善につながる業務及び省エネコンサル業務、環境法令対策アウトソーシングサービス『環境部長』などの受注拡大を目指し、提案の強化を行いました。また、お客様の環境改善に繋がる活動として環境ウェビナーを開催しました。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
1	省エネ業務及び環境改善につながる案件等の受注拡大	各グループ計画の遂行	一部グループ目標達成ができない商品もあったが、後期に主力案件受注を目指した結果、全社では目標を上回った	○	各グループ計画の遂行
		関係グループでの取組み	省エネ診断は目標を下回ったが、土壌対策については目標を上回った 無料環境ウェビナーを年10回以上開催	△	関係グループでの取組み

間接的なCO2削減量の算出の取組み

オオスミが行っている、CO2削減ポテンシャル診断及び省エネ診断等の提案による間接的なCO2削減量の算出を行っています。令和5年10月までに削減したお客様の総CO2排出量は、累計で571kt・CO2となりました。



(2) 自社の主な環境活動

私たちは環境調査・分析・対策などの事業活動における、環境や安全に関する法令や決まりごとを順守し、環境汚染の防止と環境負荷の低減について目標を決め継続的に活動しています。

① 化学物質の適正管理

ばく露防止などに関する適切な措置の実行のため、化学物質のリスクアセスメントを行いました。



環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(1)	使用化学物質の種類と量の把握及び適正な保管状況の維持	試薬管理システムの運用	試薬管理システムを活用し指定数量を管理した	○	試薬管理システムの適正運用
		化学物質のリスクアセスメント実施	各グループによるリスクアセスメントを実施した		化学物質のリスクアセスメントの実施
		勉強会の実施	化学物質、労働安全に関する勉強会を実施した		各グループによる勉強会の実施
		定期的な作業環境測定	年2回実施した		作業環境測定の実施

② 廃棄物の適正管理

『産業廃棄物及び資源の分別ルールブック』を作成し分別の明確化及び分別の徹底を行い、減量化を進めました。



環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(2)	廃棄物の適正管理	産業廃棄物の適正管理 廃棄物管理の整備・規定見直し定期的なルールブック活用、分別の明確化及び徹底により、ゴミの減量化を進める	廃棄物管理の整備を行った ルールブック活用、分別の明確化を行い、全社に定期的な発信を行った 使用済みユニフォームの繊維リサイクルを行った	○	廃棄物置き場の整備と管理を継続的に行う リサイクル分別の明確化及び徹底し、ゴミの減量化に務める

『資源と廃棄物 分別ルールブック』の活用

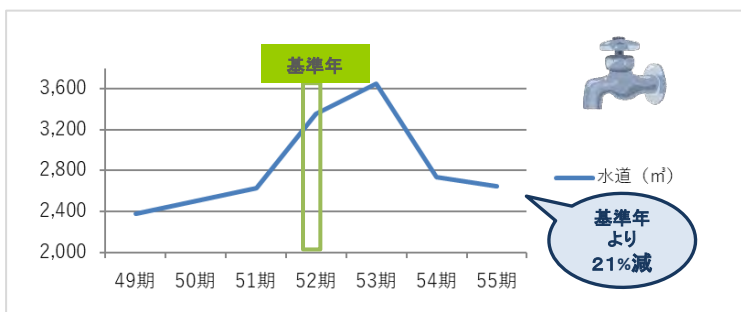
法を守り、廃棄物の発生を抑え持続可能な資源を未来に繋げること、また廃棄物の困りごとを解決するために本社で使える『資源と廃棄物 分別ルールブック』を作成しました。どこにどのように廃棄すれば良いか、廃棄物がどのように処理されるか、いくらかで処理されるかなどが分かるようになっています。



③ 資源の効率的活用

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(3)	資源の効率的利用	①紙使用量の削減 保管文書や報告書チェックのペーパーレス化推進など書類の電子化によるペーパーレス化	保管文書、報告書チェックのペーパーレス化を行った データチェックなどの電子化を行った	○	グループ間においてDWの活用によるペーパーレス化推進などグループごとの活動を水平展開する
		②水使用量の削減 節水に取り組む 雨水貯蔵タンクを設置し散水等への活用を進める	各部署、節水に取り組んだ 雨水貯蔵タンクを設置し散水等への活用を行った	○	節水に取り組む 排水、雨水の利用を行い、水道水使用を低減する

水道使用量推移 (m³)



主に環境分析業務で水道水を使用しています。49期から毎年使用量が増加していましたが、冷却水循環装置の導入等により54期、55期ともに減少しました。

④ 排水処理装置の維持・運用



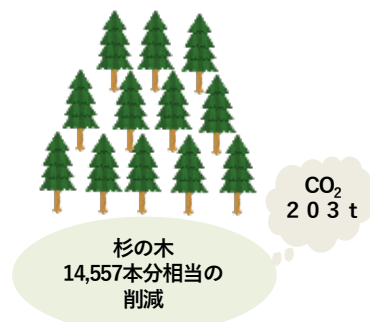
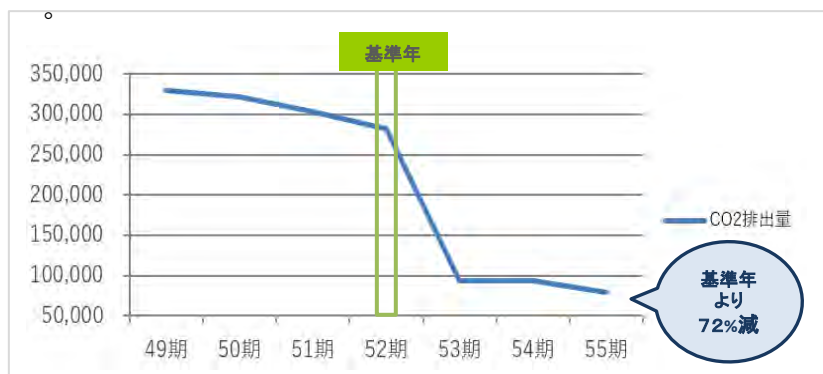
環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(4)	排水処理装置の維持・運用	日常及び定期管理 基準超過0件 水質事故0件	基準超過、水質事故共にゼロだった	○	日常及び定期管理をする 基準超過0件 水質事故0件

⑤ CO₂排出量の削減

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(5)	CO ₂ 排出 量の削減	①電力使用 量の削減 デマンド監視を行う エアコンフィルタ定期清掃 LED照明への変更 月2回の社員一斉退勤時の 電力の削減	エアコンの適正温度調整を行った 高効率設備への更新による削減 LED照明設置完了した 残業時間低減による節電を行った	△	引続きデマンド監視を行う エアコンフィルタ定期清掃 高効率設備への更新による 削減 月2回以上の社員一斉退勤 時の電力の削減
		②化石燃料消費 量の削減 ・都市ガス /ガソリン/軽 油 エコドライブの啓発・実施 燃費の見える化	各グループによる、エコドライブの 啓発を実施した ノーカーデーの実施 各車の燃費の見える化を進めた	△	エコドライブ啓発活動の継 続
		③CO ₂ 排出量 CO ₂ 排出量削減の見える化	CO ₂ 排出量削減の見える化は進めて いるが、電気自動車並びに充電設備 の導入はできなかった	△	ハイブリッド車や電気自動 車の導入・運用検討

CO₂排出量 (kg-CO₂)

53期に行った太陽光発電の導入、風力発電所を指定した電力の供給により、本社は『再生可能エネルギー100%』となりました。基準年と比較して55期はCO₂ 排出削減率72%を達成！！杉の木換算約14,557本分のCO₂削減効果となりました！今後は全社で再生可能エネルギー100%を目指します。



電力供給

発電所を指定して電力供給を受けることのできる会社と契約し、秋田県八峰町峰浜風力発電所からの電力の供給を受けています。

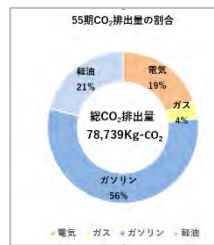


太陽光発電

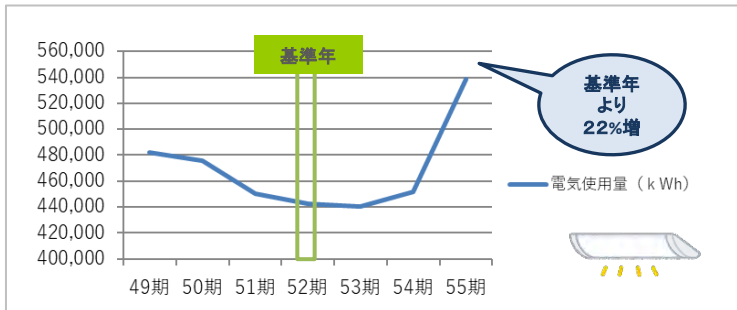
53期に本社屋上に太陽光発電装置を設置しました。55期に関しては本社で使用する電力の約8.5% (45,811 kWh) が自家発電で賄えました。



各種エネルギー使用量の推移

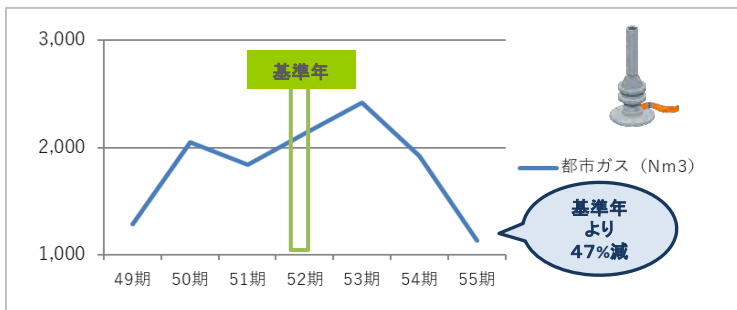


電気使用量推移 (kWh)



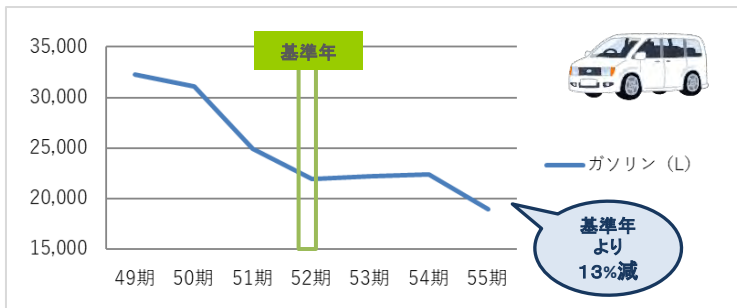
本社敷地内に建設中の新ラボ棟が55期より本格稼働しました。本社照明のLED化や高効率設備への更新による削減、エアコンの適正温度調整等を行い本社の使用電力は削減出来ましたが、新ラボ棟の設備等の増加により、**全体の電気使用量は基準年より22%増加しました。**
引き続き、使用量の削減に努めます。

都市ガス使用量推移 (Nm³)



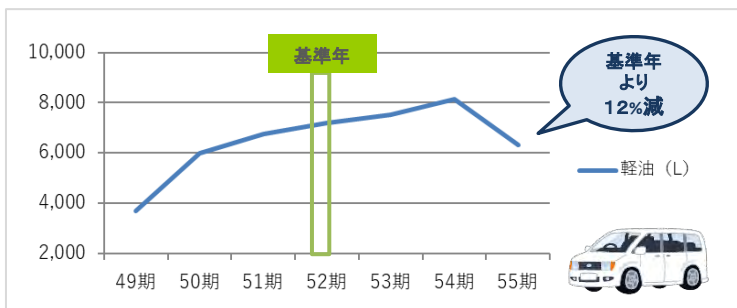
49期までは順調に使用量が削減できていましたが、その後増減があります。新ラボ建設に伴い**分析装置電氣化**を行ったため、55期は**減少**しました。

ガソリン使用量推移 (L)



49期から社用車の相乗り、アイドリングストップ、ハイブリット車への変更、ノーカーデーの実施等の施策により、順調に使用量が**削減**できました。

軽油使用量推移 (L)



49期からの使用量の増加の主な要因は、遠方における調査が増加し、移動距離が増加したと推測します。55期については、遠方における調査が減少したと推測します。

⑥ グリーン購入の推進

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(6)	グリーン購入の推進	グリーン購入の啓発・実施	エコ商品の購入(ビニール袋の縮小化)、脱プラの取組みを行った	○	

⑦ 工事現場における環境配慮の徹底

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
2-(7)	工事現場における環境配慮の徹底	工事現場での環境配慮	現場での発生ゴミの適正分別、及び、低騒音型重機の使用を行った	○	建設現場での環境配慮

5. 環境目標活動計画及びその取組み結果と評価・次年度の取組み

(3) 環境に関する取組みの向上

オオスミで働く全ての人が環境への高い意識を持ち続け、環境に関する知識を深めるとともに日常生活においても環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮して行動することを目指しています。これまで行ってきた持続可能な環境や社会に向けた様々な環境活動の一部をご紹介します。

環境方針 No.	環境目標項目	環境目標活動項目	取組結果	評価	次年度(56期) 取組み内容
3	環境に関する取組みの向上	各グループ・全社による社会貢献活動 eco検定全員合格 脱プラに繋がる事務用品の導入など	各グループ社会貢献活動を行った eco検定合格者約8割 脱プラに繋がる事務用品の紹介をした	○	社会貢献活動の継続 eco検定全員受験し合格

環境への取組みー1



SNSを使用したごみ拾い活動

ピリカというごみ拾いアプリを活用したごみ拾い活動を行っています。

SNSでごみを拾った記録を投稿して共有すると、拾ったごみが世界で拾われている量に



加算され、感謝の「いいね」が飛び交います。海岸清掃、会社周辺の清掃、自宅から会社までの道などで活用しています。

畑プロジェクト

会社近くの畑を借りて皆で楽しみながら季節の様々な野菜を育てています。オオスミとして食について考える新たな機会を広げています。



プラスチック製クリアファイル『購入量0』活動！

オオスミでは『脱プラスチック』活動の一環として、事業活動で使用するプラスチック製の『クリアファイル購入量を0にする』取組を行っています。



紙製等の代替品を使用するルールを決めたところ、活動開始から約1年で8割のクリアファイル購入量を削減することができました。

SDGsフェイスイベントを開催

ロックフェスのようにSDGsを叫んで伝える『ラウド&ピース』を開催。環境の為に活動するゲストスピーカーによるプレゼンや、ディスカッション等を行いました。いろんな方の視点から知ることができ良かったなど、嬉しいお言葉をいただきました。

第一回テーマ：「食と環境」

第二回テーマ：「ごみ問題」



環境マガジンゼロ・クロニクルの発行

オオスミでは、『日本の脱・プラとゼロ・ウェイストに貢献したい』との想いで、環境マガジンZERO CHRONICLEを夏至と冬至の年回発行しています。

2023年6月に第8号を発行しました。



プラスチックごみ問題イベントで講演

横浜市が開催する小学生向け環境イベントでプラスチックの測定体験をするゲームを楽しんでいただき、プラスチックにたくさんの種類があることを紹介。



海洋におけるごみ問題やごみの再生事例、解決するために必要なことなど学び考えるワークを行いました。洋服もプラスチックだったのでびっくりしたけど面白かったなど好評でした。

環境への取組みー2



外周清掃

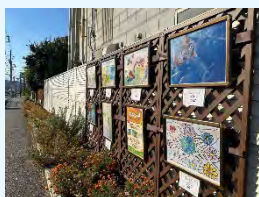
毎月1回本社の外周清掃を実施しています。地域住民の一員として、よりよい環境づくりに貢献したいと考えています。



環境絵画展

～私たちの未来の地球を守ろう～

小中学生を対象に未来の地球環境を守るための方法や未来の姿の絵画を募集し、優秀賞は外周のフェンスに提示しました。



使用済み切手の寄贈を行っています

オオスミでは郵便物の使用済み切手の回収を行い「公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ寄贈活動を行っています。

収集した切手は、海外の保健医療事業向上のために役立てられています。

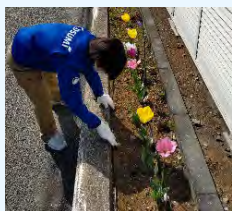


本社外周を緑化！

～自然と触れ合う歩道～

オオスミ本社外周フェンス及び植え込み部分を利用し、自然と触れ合える花壇を作りました。みんなで育てた苗を含め、ハウセンカ、ジニア、マリーゴールド、アサガオ

アジサイ、フウセンカズラなどを植えました。引き続き、明るい雰囲気の道づくりをすすめていきます。



プロボノ活動 @濱橋会

環境分析の専門技術で社会に貢献するプロボノ活動(専門性を活かしたボランティア活動)を行っています。当社が参画している横浜都心部のまちづくりNPO法人

HamaBridge濱橋会の「大岡川の水を徹底的に綺麗にするプロジェクト」では定期的に水質調査を行い、勉強会で環境調査・分析に関する講師を務めるなど、環境改善の「わ」を広げる活動を行っています。



目黒町公園の清掃活動

本社前にある目黒公園の草刈りと清掃活動を行っています。ひと月に1週間清掃の週を決め、昼休みの時間を使って活動しております。

特に夏の時期には草刈り機も使ってみっちり活動しています！



水のふるさと道志の森基金への寄付をおこなっています

オオスミ本社の飲料用自動販売機の売り上げの1%が『水のふるさと道志の森基金』に半年に1回寄付されます。

『水のふるさと道志の森基金』は、道志の森再生

させる活動である『道志ボランティア事業』に活用されています。



川の生態を再現したアクアリウム

地域の自然を知っていただきたいと、川の生態を再現したアクアリウムを受付近くに設置しています。



環境への取組み－3



お客様向け環境Webinarの開催

環境関連分野の知識習得や技術の向上、新入社員教育や他部署から異動してきた方のための専門教育として等、外部の方向けにオオスミ環境Webinarを毎月開催しています。

【セミナー例】

- ・環境法令対策
- ・土壌汚染調査・対策セミナー
- ・アスベストのリスクセミナー
- ・PCB調査・対策セミナー
- ・環境分析に関するセミナー
- ・環境法令に関するセミナー
- ・材料解析セミナー
- ・省エネルギーセミナー など



次世代を担う子供達を支援する活動

環境教育の一環として、海岸でプラスチックごみを拾い、その重さを競うプラスチックゲームを行う体験学習や、企業が抱える環境問題について考える職業講和、プラスチック問題講義・分析体験を交えた訪問学習など、保育園児から高校生まで、次代を担う子どもたちを支援する活動を行っています。



オオスミのSDGsへの取り組み

私たちは地球のドクター



「私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」
をミッションとし、地球環境問題の解決に貢献することを目指しています。

私たちは、SDGsをミッションを果たすための中間指標とし、
全社員で目標を定め、オオスミの強みを活かすことで、持続可能な環境や社会の構築に貢献します。

オオスミの事業を通じたSDGsの貢献

	3 持続可能な 消費と生産	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレを 世界中に	7 持続可能なエネルギーを みんなに	8 働きがいも、 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくばないで 消費しよう	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
水	○	○	○			○	○	○	○	○
土壌・残土	○	○	○			○	○	○	○	○
大気・空気	○	○	○			○	○			○
悪臭・臭気	○	○	○			○	○			○
PCB	○	○				○	○			○
騒音・振動	○	○				○				○
アスベスト	○	○				○	○			○
材料・製品		○			○		○			○
環境アセス	○	○	○			○		○	○	○
作業環境	○	○			○					○
自然環境	○	○	○			○		○	○	○
工場・建設環境	○	○	○		○	○	○	○		○
地球温暖化対策	○	○		○	○	○	○			○
受託・研究	○	○			○		○			○
環境部長®	○	○			○		○	○		○
マイクロプラスチック調査	○	○	○				○	○		○
ゆあらば®		○			○		○			○
環境の健康診断®	○	○					○	○		○

ロゴ・目標	オオスミのサービスとビジョン		
 3 すべての人に健康と福祉を	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・悪臭・臭気調査 ・PCBコンサルティング ・騒音・振動調査 ・アスベスト調査 ・環境アセスメント	・作業環境測定 ・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・環境の健康診断®	各種公害系環境保全事業（大気、土壌、水質調査等）を通じて環境の現状、並びに潜在的な汚染の把握を行います。また対策工事の実施により、さらなる環境の改善や汚染の拡大を未然に防ぎます。
 4 質の高い教育をみんなに	・各種セミナーの開催		企業や民間向けに各種セミナーや勉強会を開催し、環境面におけるリスク回避や新たな価値の創造を展開していきます。また海外からの技術者を受け入れ、技術指導、技術移転を図ることで、各国における環境改善を促進し、持続可能な社会の構築に貢献していきます。
 6 安全な水とトイレを世界中に	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・環境アセスメント	・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・海外環境協力	世界中の誰もが安全な飲料水を手に入れることができるよう、工場排水の調査、分析を行うとともに、センサー技術を活用した水質監視システムを構築、展開していきます。また持続可能な水資源の利用を実現するため、水源地を含む一般環境水質の改善に取り組んでいきます。
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・省エネ調査・対策 ・海外環境協力		事業所の省エネ調査において、設備更新のみならず運用改善等の提案によりエネルギー効率化を推進します。また温暖化ガス削減の観点から、お客様に再生可能エネルギーへの転換も提案し、企業価値向上に貢献していきます。
 8 働きがいも経済成長も	・材料解析 ・作業環境測定 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策	・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・ゆあらば®	環境部長Rを通じて、事業所における環境法令の順守状況を把握するとともに、さらなる環境負荷低減へ向けお客様に寄り添い、より一層の企業価値向上のためのサポートを行います。また省エネ調査においては適切な設備運用を提案することで、最大の費用対効果を実現していきます。 ゆあらばや材料解析では、お客様の品質、生産効率向上のため、様々な問題解決に向けて専門の立場からアドバイスをを行います。労働環境については、特に東南アジアの諸国に対して、作業環境測定を通じて劣悪な作業環境の低減を展開していきます。
 11 住み続けられるまちづくりを	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・放射線量率測定 ・PCBコンサルティング ・騒音・振動調査	・アスベスト調査 ・環境アセスメント ・自然環境調査 ・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力	あらゆる技術を駆使して、レジリエントな社会の構築に貢献していきます。 特に環境アセスメントに関しては廃棄物関連、並びに再生可能エネルギー関連の事業に着目し、常に最新の情報や技術を取得することで、お客様の要望に応じてまいります。 建設工事や解体で発生した有害物質の含まれた土やPCBなどについても、適切な処理のため提案させていただきます。
 12 つくる責任つかう責任	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・大気・空気調査 ・PCBコンサルティング ・アスベスト調査 ・材料解析	・工場・建設環境 ・省エネ調査・対策 ・海外環境協力 ・受託・研究 ・環境部長® ・ゆあらば® ・環境の健康診断®	省エネ調査ではエネルギーの効率化と再生可能エネルギーへの転換を促進することで、持続可能な資源管理に貢献していきます。 またLCAやSCOPE3の観点からも、様々なご提案をさせていただきます。廃棄物や温暖化ガスの排出削減に貢献していきます。
 14 海の豊かさを保ちよう	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・環境アセスメント ・自然環境調査 ・マイクロプラスチック調査	・工場・建設環境 ・海外環境協力 ・環境部長® ・環境の健康診断®	特にマイクロプラスチック問題に着目し、最新の知見と技術に基づく改善提案を行うことで、海洋汚染の低減に貢献していきます。
 15 陸の豊かさも守ろう	・水質調査 ・土壌・残土調査 ・環境アセスメント	・自然環境調査 ・海外環境協力	生物多様性の確保、持続可能な自然資源の活用という観点から調査、提案をさせていただきます。
 17 パートナリシップで目標を達成しよう	・教育 ・各分野における調査、分析、対策工事		オオスミは「モノ」ではなく「コト」に対して最適な対応を実現するため、多岐にわたる専門分野の会社とパートナーシップを結び、各種課題を解決していきます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

凡例：●：該当する ■：努力義務がある ▲内部調査にて不適合発覚、すでに是正済 ×：該当なし

No	法令名称		判定	管理部署責任者	遵守状況確認・評価	
					チェック日	結果
1	環境基本法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
2	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）		×	分析グループ長	2023/7/12	-
3	化管法（PRTR法）		●	分析グループ長	2023/7/12	○
4	労働安全衛生法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
		●電離放射線障害防止規則	●	分析グループ長	2023/7/12	○
		●有機溶剤中毒予防規則	●	分析グループ長	2023/7/12	○
		●特定化学物質障害予防規則	●	分析グループ長	2023/7/12	○
5	毒物及び劇物取締法		●	分析グループ長	2023/7/12	○
6	消防法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
		横浜市火災予防条例	●	総務グループ長	2023/7/12	○
7	高圧ガス保安法		●	分析グループ長	2023/7/12	○
8	フロン排出抑制法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
9	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）		■	総務グループ長	2023/7/12	○
10	エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（省エネ法）		■	総務グループ長	2023/7/12	○
11	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）		●	総務グループ長 調査第一グループ長 分析グループ長	2023/7/12	○
12	PCB廃棄物特別措置法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
13	資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）		■	総務グループ長	2023/7/12	○
14	容器包装リサイクル法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
15	家電リサイクル法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
16	小型家電リサイクル法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
17	建設リサイクル法		●	調査第一グループ長	2023/7/12	○
18	食品リサイクル法		×	総務グループ長	2023/7/12	-
19	自動車リサイクル法 【全車リース使用】		×	総務グループ長	2023/7/12	-
20	水銀汚染防止法（水銀による環境の汚染の防止に関する法律）		●	総務グループ長	2023/7/12	○
21	自動車NOx・PM法		×	総務グループ長	2023/7/12	-
22	水質汚濁防止法（地下汚染含む）		●	分析グループ長	2023/7/12	○
		横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2023/7/12	○
23	下水道法		●	分析グループ長	2023/7/12	○
		横浜市生活環境の保全等に関する条例	●	分析グループ長	2023/7/12	○
24	騒音規制法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
25	振動規制法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
26	悪臭防止法		●	総務グループ長	2023/7/12	○
27	グリーン購入法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
28	電気事業法		■	総務グループ長	2023/7/12	○
29	水道法		■	総務グループ長	2023/7/12	○

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

「当社の事業そのものが環境改善に寄与する」というモチベーションを維持・継続しており、環境経営システムは有効に機能していると考えます。

前期より新しいラボ棟が稼働したため、電気、水の量が増加した。会社全体の活動とあわせ、負荷を減らす仕組みを引き続き考えたい。

また、気候変動問題への取組みにおいて、RE100活動は推進できたが、弊社自体のスコップ3を含む中小企業版SBTは56期に持ち越しとなった。他企業の脱炭素の実現のサポートができるように今後も努める。

外部向けの環境セミナーを行える講師の育成や全社員エコ検定合格が進められた。継続しておこなっていく。

今後は、CO₂排出量の削減に対して、具体的な案としてはEV車の採用を増やすことを検討する必要がある。県内を走る営業車において順次入れ替えを考えていき、EV車を1、2台購入し充電システムの設置場所を作ること検討する。具体的には、車ごとの燃費を計上し効果の確認を行っていく。

(2) 見直しの結果

- ①目標達成ができない商品もあったが、前期に比べて省エネ、土壌対策工事共に目標を上回った。
- ②脱プラ活動の一環として、クリアファイル購入量0を目指す活動をはじめ使用枚数4800枚から1200枚に減少した。今後は購入料0を目指す。
- ③水の使用量については、循環水利用などにより低減されているが、さらに、雨水等の有効活用の検討を進めていく。
- ④ラボ棟を新設したことにより、電力使用量は増加しているが、引き続き会社全体の活動と合わせ、負荷を減らす仕組みを考える。

以上